

高知県高吾北地区

林業研修制度を活用した担い手育成の取組

官民一体となった研修制度により、地域全体で担い手の育成を目指す。

□現状と課題

戦後の国の施策により人工林の植栽が進められてきたこともあり、森林資源は充実した環境となっているが、家族経営体や個人林家が多く、古くから仁淀川町の林業を支えてきた方たちの高齢化や後継者不足により、担い手の確保が重要な課題である。

□取組概要

仁淀川町の急峻な山林ならではの現場で、林業機械を使用した作業道の開設や、間伐作業、集材作業を視察・体験し意欲ある人材には実務を研修していただき、1年後には町内の林業事業体や林業関係に従事することを目的とした、『仁淀川町林業研修生制度』を設立。その前段階として林業視察・体験事業(林業体験ツアー)を行い、毎年10名以上の参加を得ている。(図2)また研修生募集ツールとして漫画コンテンツやパンフレット等も作成した。(図3)

□取組の効果・成果

- ・研修生の実績
 - 平成29年度から受入れ開始
 - 30名卒業(内23名が担い手として就職、家族を含めると39名が移住)
- ・研修生用住宅として空き家を改修する等、町の移住促進としても効果が出ている。

□取組が進んだ要因

移住促進担当と連携し、町を上げてのプロジェクトとして取組む中で、地元事業体との官民一体となった体制が出来たこと等、研修生に安心して来ていただける取組となった。また、漫画を作成することで、本町の実情や、研修制度について分かり易く伝えることができた。

□これから取組む地域へのアドバイス

当初は、財源確保に苦慮したが、森林環境譲与税により、財源確保が出来ると考えられる。

担当者:連絡先
仁淀川町役場産業振興係
奥田 誠
メール:
sanken@town.niyodogawa.lg.jp
電話 0889-35-1083

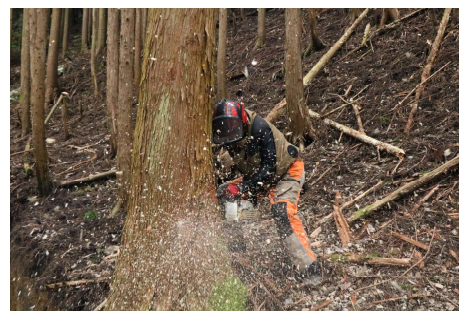


図1 研修生



図2 体験ツアーの様子



図3 漫画コンテンツ等



図4 研修生、OBによる交流会